

当たり前を感じている給食なのですが…

校長 片 山 亮 一

「校長先生、立山町の給食、とってもおいしいでしょ。立山町はお金があるし、デザートなんかも他のところに比べて絶対にいいんだから。」

4 月、本校に勤務して間もない私に、笑顔で話しかけ安心感を与えてくれた 2 年生の女子生徒の言葉です。確かにデザートやパンのバリエーションは本当に豊富です。そして、学校給食で私がこれまでに出会ったことがないメニューが次々と現れ、その味についても「深い味わい」があるように感じます。そして、いつも心がほっこりします。

実は、このおいしい給食を私は学校の責任者として生徒たちよりも 30 分早く試食し、異物混入がないか、調理の状態は適切かなどを確認しています。これを『検食』といい、学校給食法のもと設けられた『学校給食衛生管理の基準』に義務付けられています。

給食とともに『検食簿』と呼ばれる記録簿が届きます。この記録簿にはその日の給食に用いた食材や調味料などが詳細に記載されていますが、意外な調味料が隠し味として使われるなど、「ひとと味違う」理由がよく分かります。

実は、いつも当たり前のようにいただいているこの給食に驚きの事実があることを最近になって知りました。何と立山町の給食の 1 食あたりの単価 310 円が、他地域と比べて 10 円以上も安いのです。こんなにも工夫され、バラエティに富む給食なのに安いのです。

その理由として、次のことが挙げられます。

- ・ 立山町産コシヒカリや地元で収穫される野菜など、地場産の食材が地元の業者を通して安価に提供されている。
- ・ 使用する食材はできるだけ加工品を使わないようにしているため、他地域ほど割高になっていない。
- ・ 給食センターでお米を炊いているので、炊飯のための委託料がかからない。



加工品食材を使わなければそれだけ調理の手間が増え、自前でお米を炊けば負担が多くなるはずですが、敢えてこのような配慮がなされ、結果としてより安価な給食が提供されることになるわけです。

昼の放課では毎回ユニークなメニュー紹介が給食委員によって読み上げられ、生徒の「食」への関心を高めています。また、最近ではサッカーのワールドカップ・ロシア大会に合わせて、日本チームの対戦国コロンビアやポーランドのメニューがタイムリーに提供され、生徒たちの気持ちは世界を巡っています。

生徒たちが先日の新川地区選手権大会で粘り強く闘い抜くことができたのも、日頃から穏やかな学校生活を送ることができているのも、この魅力ある給食に込められた愛情とパワーによるところが大きいと改めて感じる毎日です。



7 月～8 月の主な予定



6 月 27 日 (水) ～ 29 日 (金) 期末考査	7 月 30 日 (月) 県吹奏楽コンクール
7 月 3 日 (火) 保健講演会 (1 年)	8 月 1 日 (水) 学校保健委員会
7 月 5 日 (木) 保健講演会 (2 年)	8 月 4 日 (土) 中部日本吹奏楽コンクール県大会
7 月 7 日 (土) ～ 8 日 (日) 県選手権大会 (陸上競技)	8 月 7 日 (火) ～ 10 日 (金) 北信越大会 (石川県)
7 月 13 日 (金) 体育大会結団式	8 月 8 日 (水) NHK 学校音楽コンクール
7 月 14 日 (土) ～ 16 日 (月) 県選手権大会	8 月 13 日 (月) ～ 15 日 (水) 学校閉庁
7 月 17 日 (火) 学校集金口座振替日	8 月 17 日 (金) ～ 25 日 (土) 全国中学校選手権大会
7 月 18 日 (水) 保健講演会 (3 年)	8 月 18 日 (土) ～ 19 日 (日) 古紙回収
7 月 18 日 (水) ～ 20 日 (金) 学期末懇談会	8 月 19 日 (日) 県中学校文化祭
7 月 24 日 (火) 1 学期終業式	8 月 27 日 (月) 2 学期始業式
7 月 28 日 (土) ～ 29 日 (日) 県民体育大会	

市姫神社祭礼後の清掃ボランティア

ボランティア委員会の呼び掛けに応じた生徒130名余りが、市姫神社祭礼後の清掃ボランティアに参加しました。各々が五百石町内や駅前、天満宮周辺のごみ拾いをしました。ごみの量はさほどありませんでしたが、小さなごみも見逃さないよう、熱心に取り組みました。拾ったごみは学校へ持ち帰り、分別して出しました。



天満宮周辺でゴミ拾いをする生徒

新川地区大会の結果

新川地区大会が6月16日(土)、17日(日)に行われ、各会場で熱戦が繰り広げられました。その結果、7月14日～16日(陸上競技は7日、8日)に行われる県選手権大会出場を決めた団体と個人を紹介します。北信越大会(石川県開催)出場そしてさらに全国大会(中国ブロック開催)を目指して頑張ります。

○陸上競技部 男女総合優勝

男子総合1位

女子総合2位

男子1年100m	2位	古西玲登(1-6)	4位	田中凜太郎(1-2)
3年100m	2位	小柴大世(3-7)	3位	新木海斗(3-2)
共通200m	1位	小柴大世(3-7)		
1年1500m	3位	藤畑聡汰(1-3)	5位	泉野慶成(1-4)
共通1500m	2位	山本皐斗(3-5)	4位	長屋匡起(2-1)
共通3000m	2位	長屋匡起(2-1)	5位	山本 要(3-4)
共通110mH	2位	松原 輝(3-4)	6位	吉田篤郎(3-1)
1年400mR	1位	(松下幸誠、田中凜太郎、西田空人、古西玲登)		
共通400mR	1位	(松原 輝、新木海斗、青山誠司、小柴大世)		
共通走高跳	6位	西田空人(1-2)		
1年走幅跳	1位	古西玲登(1-6)	2位	西田空人(1-2)
共通走幅跳	2位	青山誠司(3-7)	6位	新木海斗(3-2)
女子2年100m	4位	田村美結(2-3)		
共通800m	1位	寺松歩穂(3-5)		
共通1500m	1位	寺松歩穂(3-5)	3位	石正彩綾(2-4)
共通100mH	1位	村井あさ(2-3)	5位	林亜沙南(1-3)
1年400mR	2位	(森井千咲子、新井沙彩、石田愛華、林亜沙南)		
共通走高跳	1位	田村美結(2-3)		
1年走幅跳	3位	林亜沙南(1-3)		

○水泳部

自由形50m	4位	藤森悠月(3-3)	100m	3位	藤森悠月(3-3)
平泳ぎ100m	1位	室井海人(2-4)	200m	1位	室井海人(2-4)
背泳ぎ100m	1位	寺崎媛香(3-5)	200m	1位	寺崎媛香(3-5)

○バスケットボール部 男子 3位

○バレーボール部 男子 3位

○バドミントン部 男子団体1位

女子団体2位

男子ダブルス	2位	島林凜弥(3-1)・中橋 凜(3-4)		
	3位	高嶋里久(3-3)・小川陸翔(3-7)		
男子シングルス	3位	本吉 棕(2-2)		
	3位	穴田光輝(3-4)		
女子ダブルス	3位	菅原理来(3-4)・渡邊瑞希(3-1)		
女子シングルス	3位	山口緩流(3-1)		

○剣道部

男子団体1位

女子団体2位

男子個人	2位	加藤慎之介(3-5)	3位	澤崎隼輔(3-6)
女子個人	2位	松井芽依(3-1)	3位	西井夢良(2-3)

○卓球部 男子個人 藤田康介(2-5) 女子個人 佐伯 董(3-2)

